

副専攻名 地域創造学			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメントの各プログラム専門科目の83科目中より23単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。			
副専攻の学修成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。</li> <li>・地域課題を把握し分析する能力が身につく。</li> <li>・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。</li> </ul>			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
15041	地域創造学Ⅰ	地域創造学の基本的な内容と特徴を理解するとともに、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域をつくるうえで、地域創造学がどのように活用できるかを、具体的な事例を通して理解する。	1
15042	地域創造学Ⅱ		1
15043	地域創造学Ⅲ		1
35A01	環境経済論Ⅰ	人と自然の共生に関わるキーワード、持続可能性に注目し、経済現象を物質代謝システムとして捉え、市場経済の問題点を理解する。	2
35A02	環境経済論Ⅱ	環境問題について、政治経済学の権利侵害論から理解を深め、最後に変化する自然(温暖化や激化する感染症など)と経済の関係について考える。	2
35A03	食環境学	食環境を構成する要素である栄養素、食品成分、食品表示などについての基礎知識を修得する。	2
35A04	栄養生理学	糖質、脂質、タンパク質等の代謝や栄養的意義、スポーツ時や病態時の栄養摂取等について理解する。	3
35A05	自然環境基礎論	日本と世界の自然環境・自然地理に関する基礎的な知識を取得する。	2
35A06	自然環境と社会	自然環境に対する人間社会の影響と、人間社会に対する自然環境の影響のそれぞれについて、理解をするための方法論について学ぶ。	2
35A07	自然環境論A	自然環境の変動について、主に第四紀に着目しながら、全球スケールからローカルスケールまでの影響を理解する。	2
35A08	自然環境論B	環境と生物分布の関係について、論文を通して理解する。	2
35A09	資源活用と環境共生	地域が有する資源を活用し、より豊かな生活創出、優位でかつ持続的な産業活動や地域形成、教育・文化的活動などを検討していくための考え方、取り組み方や、その際に課題となる点などを地理学的研究などを援用しながら学ぶ。地域資源についてパンフレット・紹介マップを実際に作成し、報告・検討をする機会を通じて、標的市場や人々に効果的に情報を伝える技能を身につける。	2
35A10	防災・減災と地理学	自然災害と地理的環境との関係性について理解する。作業・フィールドワークを通して、自然災害と人、地域・社会との関わりを意識し、的確な情報発信を試み、防災・減災への関心を醸成する防災マップ作成に取り組む。	2

副専攻名 地域創造学			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
<p>地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメントの各プログラム専門科目の83科目中より23単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。</p>			
副専攻の学修成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。</li> <li>・地域課題を把握し分析する能力が身につく。</li> <li>・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。</li> </ul>			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35A11	生態系サービス基礎論	わが国の生物多様性と生態系サービスについて学ぶ。前半では、農村・都市・水域の生物多様性について概観し、後半では、里山・里海の歴史と現状を重点的に取り上げる。	2
35A12	河川政策論	河川と水を対象とする公共政策について、その全体像を正しく把握し、制度や技術の展開について、その背景まで含めた知識を身につける。	2
35A18	河川環境論	河川を中心とする環境について、自然特性と人の営みの双方向の関係性を解説し、流域まちづくりのあり方について考える。	2
35B01	現代社会論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の構造について理解する。</li> <li>・現代社会の変動について理解する。</li> <li>・現代社会の諸問題を把握する。</li> </ul>	2
35B02	現代社会論研究	・現代社会論の代表的研究を読解し、現代社会への理解を深める。	2
35B03	公共社会学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人びとがともによりよく生きることを可能にする社会の条件について検討する。</li> <li>・自由、平等、連帯、正義、そして公共性の理念について理解する。</li> </ul>	2
35B04	公共社会学研究	・公共社会学的視座に基づいて、現実の社会について分析してみる。	2
35B05	市民自治論	市民による政治参加・社会参加の意義と方法について、政治史および政治理論的な背景を踏まえたうえで理解し、論じることができる。	2
35B06	地域居住論Ⅰ	地域の居住環境を構成する空間的な要素と人の生活(都市計画、住まい、景観、交通、コミュニティなど)を対象に、各要素の役割や基本的な計画理念の学習を通じて、地域課題の発見や解決に必要な基礎知識を習得する。	2
35B07	地域居住論Ⅱ	地域の居住環境を構成する空間と人の生活(都市計画、住まい、景観、交通、コミュニティなど)に対する理解を深めるための具体的な事例や各要素の評価・分析方法などの学習を通じて、地域課題の発見や解決に必要な基礎知識を習得する。	2
35B08	景観論	「景観」という概念が発生した歴史的な経緯と変遷を理解し、これからの景観の在り方を考えるうえで必要な基礎知識を習得するとともに、景観の構成要素とその見方を学び、実際に地域を歩いて景観を読み解くための知識を習得する。	2
35B09	交通地理学	地域間交通や地域内交通の成立および課題について地理的条件に即して多面的に理解する。	2

副専攻名 地域創造学			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメントの各プログラム専門科目の83科目中より23単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。			
副専攻の学修成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。</li> <li>・地域課題を把握し分析する能力が身につく。</li> <li>・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。</li> </ul>			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35B10	中山間地域の地理学	生業やまちおこしの具体例から、中山間地域における人と自然との関わり方について理解する。	2
35B11	イベント経営論	イベントに関する基礎的な理論及び現代的課題を理解する。	2
35B12	エンタテインメントマネジメント論	エンタテインメントの理論とマネジメント手法について理解する。	2
35B13	生涯スポーツ論	生涯スポーツについて、我が国の地域スポーツの動向、住民のスポーツライフ、国や自治体の施策から理解する。	2
35B14	スポーツ文化論	スポーツを文化的側面から理解する。 スポーツとメディアの関係について理解する。	2
35B15	スポーツ社会学	スポーツの社会学的アプローチについて理解する。 スポーツを集団的側面から理解する。	2
35B24	地域調査マネジメントⅠ	調査研究の問い合わせに対して、フィールドでどのようにデータを取得すればよいのか、調査方法に関する基礎的な知識を身につける。	2
35B25	地域調査マネジメントⅡ	調査研究の問い合わせに対して、フィールドでどのようにデータを取得すればよいのか、調査方法に関する応用的な知識を身につける。	2
35C01	高齢者福祉論	高齢者福祉についての基本的知識を身に付けること	2
35C02	子ども福祉論	子どもの貧困の実態を多面的にとらえ、支援ニーズと支援の在り方について意見を述べることができる。	2
35C03	障害学	障害のある人々をとりまく現状と課題を、障害の社会モデルの視点から理解し検討することができる。	2
35C04	医療社会学Ⅰ	医療の場が様々な立場の人の相互作用やコミュニケーションで構成されていることを理解し、健康と病気、医療をめぐる規範や価値観を分析できる。	2
35C05	医療社会学Ⅱ	現代医療の分析概念としての医療化と脱医療化について理解し、社会変動や技術の進歩、価値観の変化と関連づけて検討できる。	2
35C06	アドボカシー論Ⅰ	権利擁護が必要とされる福祉の現代的状況と、社会的排除や権利侵害に対するアドボカシーの意義を理解できる。	2
35C07	アドボカシー論Ⅱ	権利擁護とアドボカシーに関わる各種の事業と、それに係る組織や団体の役割と実際の活動を理解できる。	2

副専攻名 地域創造学			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
<p>地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメントの各プログラム専門科目の83科目中より23単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。</p>			
副専攻の学修成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。</li> <li>・地域課題を把握し分析する能力が身につく。</li> <li>・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。</li> </ul>			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35C08	科学技術と社会	科学と社会の間に生じる様々な課題について理解し、科学技術を通じた地域貢献について考えることができるようになる。	2
35C09	雇用政策論	就労困難層に対する福祉と就労の連携策やそれをめぐる政策論争を学ぶことを通じて、すべての人が就労による社会参加が可能となる社会の条件について考察し意見を述べることができる。	2
35C10	現代社会と貧困	公的扶助・生活保護制度・低所得者支援についての抽象的理論と具体的制度の基本的知識を身に付けること	2
35C12	対人コミュニケーション演習Ⅰ	コミュニケーションの構造理解をとおして、様々な障害等のある人とのコミュニケーションについて学習する。学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。あわせて、他者を理解する前提として、自己の価値基準、基本的的前提、感情等についての理解ができる。コミュニケーション技術の基本を身につけることができる。	2
35C13	対人コミュニケーション演習Ⅱ	コミュニケーションの構造理解をとおして、様々な障害等のある人とのコミュニケーションについて学習する。学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。あわせて、他者を理解する前提として、自己の価値基準、基本的前提、感情等についての理解ができる。コミュニケーション技術の基本をより深く身につけることができる。	2
35C14	人類学的異文化理解Ⅰ	文化人類学の視点から見た地域文化の多面的な様相を、具体的な事例検討を通じて把握する。	2
35C16	イスラーム社会と文化	イスラームの基礎的事項と、世界のイスラームの多様性を理解し、ともに生きるために考え方を学ぶ。	2
35D01	政策学基礎論	公共政策を理解するために必要な政治学および政策学の基礎知識を得て、自らの理解を試験・レポートを通じて示すことができる。	2
35D02	地方政府論	地方政府の役割、仕組み、政府間関係について基礎知識を得て、自らの理解を試験・レポートを通じて示すことができる。	2
35D03	政策リサーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共政策にかかわる文献を講読し、そのアプローチの特徴や長所・問題点について論じることができる。</li> <li>・課題文献の理解にもとづき、各自の関心にしたがってレポートを執筆できる。</li> </ul>	2
35D04	リスクコミュニケーション	リスクコミュニケーションに関する考え方を理解し、学んだ知識やデータに基づいて科学技術のリスクについて説明できるようになる。	2

副専攻名 地域創造学			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
<p>地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメントの各プログラム専門科目の83科目中より23単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。</p>			
副専攻の学修成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。</li> <li>・地域課題を把握し分析する能力が身につく。</li> <li>・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。</li> </ul>			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35D05	地域社会のリスクガバナンス	リスクやリスクガバナンスに関する知識や考え方をもとに、地域課題への貢献について考えることができるようにする。	2
35D06	地域環境ガバナンス	環境問題の解決に向けた政府の役割とその限界について理解する。とりわけ、政府の失敗とその対処策について理解する。	2
35D07	環境政策論	様々な環境問題の特徴を理解し、環境政策の形成から実施にいたる過程を理解すると同時に、そのガバナンスの構造を適切に把握し、分析できるようになる。	2
35D08	社会政策論	雇用・労働に関する社会政策が歴史的にどのように発展してきたのかを理解する。また、今日の労働問題をめぐる対抗について理解するとともに、望ましい労働政策について自らの意見を持てるようになる。	2
35D09	介護政策論	我が国における高齢者を中心とする介護についての基本的な理解を提供することにより、高齢者ケア・介護保険制度の基本的知識と理解を得ることが出来る。	2
35D10	スポーツ政策論	我が国のスポーツ政策について、中央政府と地方政府の法律・条例と施策から理解する。	2
35D12	保健医療論Ⅱ	保健医療サービスの利用者やその家族を支える医療と福祉の連携、保健医療サービスのあり方を理解し、今後の方向性を学ぶことにより、我が国における保健医療福祉における今後の方向性について理解出来るようになる。	2
35D13	社会保障論	社会保障についての基本的知識を身に付けること	2
35D14	地域計画論	地域計画の形成と実施の過程を多面的に学び、地域問題の分析や解決に必要な基礎知識を身につける。	2
35D15	農村計画論Ⅰ	農村計画と社会的な背景の有機的な構造について理解する。	2
35D16	農村計画論Ⅱ	農村計画と社会的な背景の有機的な構造について理解する。	2
35D17	政策社会学	・社会現象のメカニズムを解明し、複数の政策を検討することができる。 ・それぞれの政策の背後にある価値理念を明らかに検討することができる。	2

副専攻名 地域創造学			
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)			
地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメントの各プログラム専門科目の83科目中より23単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。			
副専攻の学修成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。</li> <li>・地域課題を把握し分析する能力が身につく。</li> <li>・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。</li> </ul>			
副専攻を構成する科目			
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年
35D18	政策社会学研究	・政策社会学の考え方を応用して、実際に社会問題を検討し、政策について分析することができる。	2
35D19	伝統文化変容論	伝統文化とは何か?「ホンモノ」の文化は存在するのか?などの問い合わせを通して、現代社会における文化変容の様相を、文化人類学の視点から理解する。	2
35D20	公共哲学	公共哲学の基本的知識を身に付けること	2
35D25	地域分析理論Ⅰ	調査研究の問い合わせに対して、フィールドで取得したデータをどのように分析すればよいのか、分析方法に関する基礎的な知識を身につける。	2
35D26	地域分析理論Ⅱ	調査研究の問い合わせに対して、フィールドで取得したデータをどのように分析すればよいのか、分析方法に関する応用的な知識を身につける。	2
35E01	ソーシャル・ビジネス論	我が国の社会課題・地域課題を明示したうえで、ソーシャルビジネスの手法を用いた解決実践策についても紹介する。	2
35E02	経済地理学	都市や農山漁村の成立要因を産業立地や産地形成に関する理論を踏まえて理解する。	2
35E05	文化と消費社会	消費社会における文化の位置づけや、グローバル経済下の地方経済と社会文化のあり方を具体的な事例を通して学び、考察する。	2
35E06	流通・消費と環境共生	地理学などの研究事例を用いながら様々な地域に存在する多様な資源が、複雑な・多岐に渡る地域や関係者、システムを通して流通、消費、普及する様に注目し、その過程や構造と、そこで取り組まれている工夫や残されている課題を考察することができるようになる。	2
35E07	農村戦略論	わが国の農村戦略について総合的に考察する。	2
35E08	コモンズ論	コモンズに関する制度、事例、実践について理解し、その思想を地域創造学の中で各自が専攻する領域に応用することができるようになる。	2
35E09	住環境計画	近代化の過程における日本・欧米の住環境計画の理念・実践の潮流を学び、これからのはまちづくりを考えるうえで必要な視点を学ぶ。また、アジア・アフリカなど異なる地域との共通点や相違点を理解し、複数の視点から住環境の在り方を捉えられるようになる。	2

副専攻名 地域創造学						
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)						
地域創造学類以外の学生が、地域創造学の概要を学ぶ科目群として位置づけられている。地域創造学類の共通科目と人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメントの各プログラム専門科目の83科目中より23単位以上修得することによって、地域課題を学際的、横断的に学び、柔軟な発想力や地域課題に主体的に取り組む姿勢の形成を目指している。						
副専攻の学修成果						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造学を構成する領域と問題意識を理解する。</li> <li>・地域課題を把握し分析する能力が身につく。</li> <li>・地域課題の解決に向けた施策や方法論を理解する。</li> </ul>						
副専攻を構成する科目						
科目番号	授業科目名	学生の学修目標	学年			
35E11	社会システム論	・システム理論の系譜を学ぶ。 ・システム理論の考え方を理解する。 ・社会システムの基本概念を理解する。	2			
35E12	社会システム論研究	・システム理論を応用して、現実の社会について分析してみる。	2			
35E13	マーケティング・マネジメント論	マーケティングの基礎理論と地域に根ざした運営上の課題を理解する。	2			
35E14	健康フィットネス論	健康スポーツの基礎理論及び健康フィットネス産業の現状と現代的課題を理解する	2			
35E15	地域福祉共治論	地域福祉に関するガバナンス・自治・住民参加に関する基本的知識を身に付けること	2			
35E16	地域社会とジェンダー I	地域における様々な活動におけるジェンダーの作用を理解し、社会的排除の解決についてジェンダーの視点から検討することができる。	2			
35E17	地域社会とジェンダー II	家族のケアを行う人々の現状と課題を理解し、地域社会におけるジェンダー平等と多様性のあり方について検討することができる。	2			
35E27	非営利組織運営論	市民を主体に構成される非営利活動組織の活動・活動成立の背景・組織運営形態について解説し、公益的価値について考える。	2			

※開講期については年度により異なる場合があるため、履修を希望する年度の授業時間割表で確認すること。  
<https://jinsha-gakusei.w3.kanazawa-u.ac.jp/cm/timetable/>